
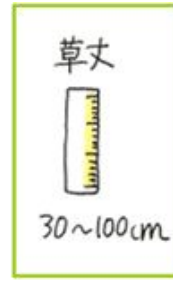


お花の栽培シリーズ「マリーゴールド」		
2006年7月	文月(ふみづき)・七夜月(ななよづき)・七夕月(たなばたづき)・相月(そうげつ)・蘭月(らんげつ)・涼月(りょうげつ)・秋初月(あきはつき)	●暑さを防ぐ対策と秋花壇の準備
<p>●蒸し暑い日が続きます。草花もダメージを受けやすい時期です。</p> <p>●だからといって 水のやりすぎは禁物です。草花が快適にすごせる対策をたてましょう。</p>		
庭木の作業	・コニファーなどの常緑樹の植え替えと 整枝の時期。	
草花の作業	<p>・秋の花壇用の草花の種まきをしましょう。</p> <p>・日陰の場所などに移動させて、あまり水を与えないようにしましょう。</p>	

今月の誕生花	ユリ、ダリア、ジニア	
今月の花	<p>サツキツツジ(サツキ) 花言葉 / 節制</p>	
	<p>サツキとツツジを わけていうことが 多いので、サツキとツツジは別の種類であると思われる方が多いでしょうが、サツキはツツジの一種です。元禄5年の園芸書には、「春咲く類をツツジといい、初夏より咲くのをツツジという」としてされているそうです。</p> <p>葉や花が 比較的大きくて、早く咲き終わるのがツツジ、ツツジが咲き終わる頃に咲く、遅咲きで小枝が多いものが サツキだと覚えておけばいいでしょう。</p>	
	<p>原産地は日本。ツツジ科ツツジ属の常緑低木。草丈は30～100cm。開花時期は4～7月。葉の形状は、互生。花色は、赤・ピンク・黄・白・絞り・複色・覆輪など。英名サツキアザレア (Satsukiazalea)。</p> <p>サツキの学名は、「インド生まれの赤い花を咲かせる木」という意味です。しかし原産国は日本です。変ですね。花言葉の「節制」は、厳しい環境でもよく育つことからつけられたそうです。</p>	



マリーゴールドは、たいへん丈夫で育てやすく 初夏から秋にかけて 次々に花を咲かせます。花つきが悪くなったら 日照不足や肥料切れの可能性があるので、よく日の当たる場所にだし、薄めの液肥を与えます。

また、葉が茂りすぎていたり 株が密植していても 花が咲かなくなります。

伸びすぎている枝を切ったり、適当な間隔となるように 間引きをします。

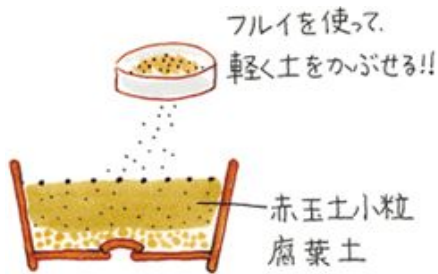
チッソ肥料が多すぎると 葉ばかり茂る原因となります。

植えつけ時の 元肥は少なめにして、生育状態を見ながら 追肥で調整するほうがいいでしょう。

夏の高温時には、花がひと休みする場合がありますので そのときに株を切り戻して形を整え、薄い液肥を与えておきます。

春に種をまいて育てますが、挿し芽でも簡単にふやすことができます。

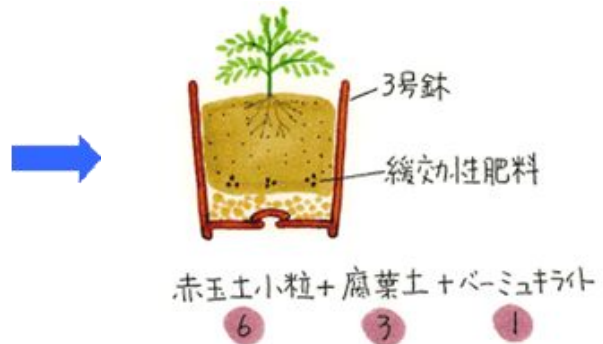
●種まきからの 育て方



種まきは、4月上旬から7月上旬まで できます。

発芽温度は、20℃以上。

赤玉土小粒と 腐葉土を等量混ぜた 用土に種をばらまきして、フルイなど を使って軽く土をかぶせておきます。



本葉が 3~4枚になったら 鉢上 げします。

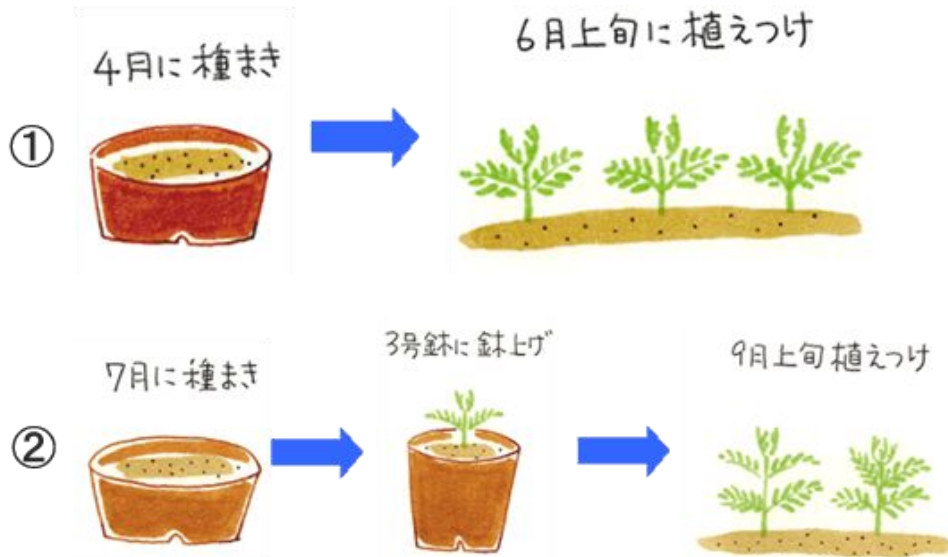


●挿し芽でふやそう!!

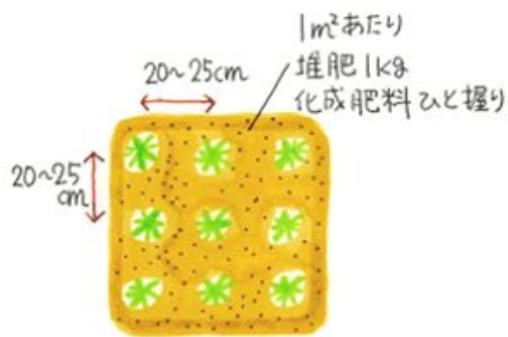
本葉が8枚になったら、上から2節目くらいのところ で 摘芯します。

● 植えつけの やり方

4月に種まきしたものと、7月に種まきしたものでは、すこし育て方が、違います。



3号鉢に鉢上げた状態で夏越しさせる。



植えつける前に堆肥と化成肥料を与えましょう。
間隔は、20~25cmで・・・。

● 年間スケジュール

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
状況					花期							
置き場所				屋外の日当たりのよい場所								
水やり				表土が乾いたら与える(1日に1回) 苗は、徒長しないように、乾燥気味にする。								
肥料					元肥							
病気害虫					葉ダニが発生したら、殺ダニ剤で駆除する。							
作業			種まき	植えつけ	挿し芽		切り戻し		植えつけ			
					花がら摘み							